平成25年度　決算説明書／事務事業評価シート

課　名	商工観光課

予算	款	項	目	決算書	
	6	1	8	222	頁

目　　名
道の駅等管理費

事業名称
道の駅等管理運営事業

1．概要

目的	市内、道の駅及び里の駅の経営安定・発展を図る	対象	市内、道の駅・里の駅・農産物出荷者
事業概要	○道の駅等管理事業…通常管理費 【施設名】(指定管理委託料／円) ・道の駅みえ （4,500,000） ・道の駅きよかわ （0） ・道の駅原尻の滝 （0） ・道の駅あさじ （1,761,000） ・道の駅おおの （3,608,000） ・里の駅やすらぎ交差点 （42,000）		

臨／経	細事業名称	事業内容（主な経費等）		予算現額（千円）	決算額（千円）	財源内訳				評価
						国・県支出金	市債	貸付金元利収入	一般	
経常	道の駅等管理事業	指定管理委託料	負担金補助及び交付金	12,858	12,358				12,358	3
計				12,858	12,358	0	0	0	12,358	

２．指標設定

成果指標			目標年度		指標の設定理由
	指標名	施設の適正な管理運営		H27	道の駅等施設の適正な管理運営を図る必要があるため
	数値	―			

活動指標									
指標	a	農産物販売額	b		c		d	
数値	目標	8億円	目標		目標		目標	

３．実績（上段・実績／下段・達成率）

成果指標名	単位	Ｈ２３	Ｈ２４	Ｈ２５
施設の適正な管理運営		―	―	―
		―	―	―

活動指標名		単位	Ｈ２３	Ｈ２４	Ｈ２５
a	農産物販売額	億円	5.7 億円	5.4 億円	5.2 億円
			71.2 %	67.5 %	65.0 %
b			―	―	―
			―	―	―
c			―	―	―
			―	―	―
d			―	―	―
			―	―	―

４．課題と対応

課題
施設の老朽化と経営の充実。
対応（改善点等）
施設補修に関しては、年々増える傾向にあるため、リスク分担を再検討する。経営の充実に関しては、経営努力してもらう。

５．事業費・・・Ｈ２３～Ｈ２５（決算額）、Ｈ２６（予算現額）

決算額（千円）	H23	H24	H25	H26
	16,563	10,876	12,358	15,848
うち経常経費	15,051	10,876	12,358	11,048
財源内訳 国費				
財源内訳 県費				
財源内訳 市債				
財源内訳 その他				4,800
財源内訳 一般財源	16,563	10,876	12,358	11,048
財源内訳 うち経常	15,051	10,876	12,358	11,048
事業費に係る人件費	1,935	1,803	1,831	1,863
事業費に係る人役	0.45	0.42	0.42	0.42

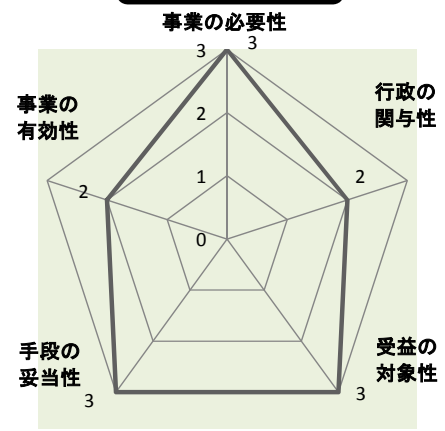
６．Ｈ２７年度予算の方向性

方向性
前年並
理由
指定管理料の見直しを行い、方向性を協議する。

７．担当課による分析

着眼点		分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3	道の駅は行政が設置者となることが前提であるため。
② 行政の関与性	責任領域の精査	2	行政の関与は必要だが、運営は民間が行うことが妥当と考えられるため。
③ 受益の対象性	事業対象の確認	3	道の駅・里の駅に限った事業であるが、農家の所得向上につながる。
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	3	地産地消の指標である道の駅での農産物の販売額を指標とすることは妥当であると思われるため。
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	2	新商品の開発、ギフトセットの販売等、経営努力は行っているものの、気象条件等、厳しい状況が続いているため。

分析グラフ



８．内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
見直し	個別進捗状況の整理を行うとともに、施設補修・リスク分担の在り方を再検討し、経営努力を促すこと。